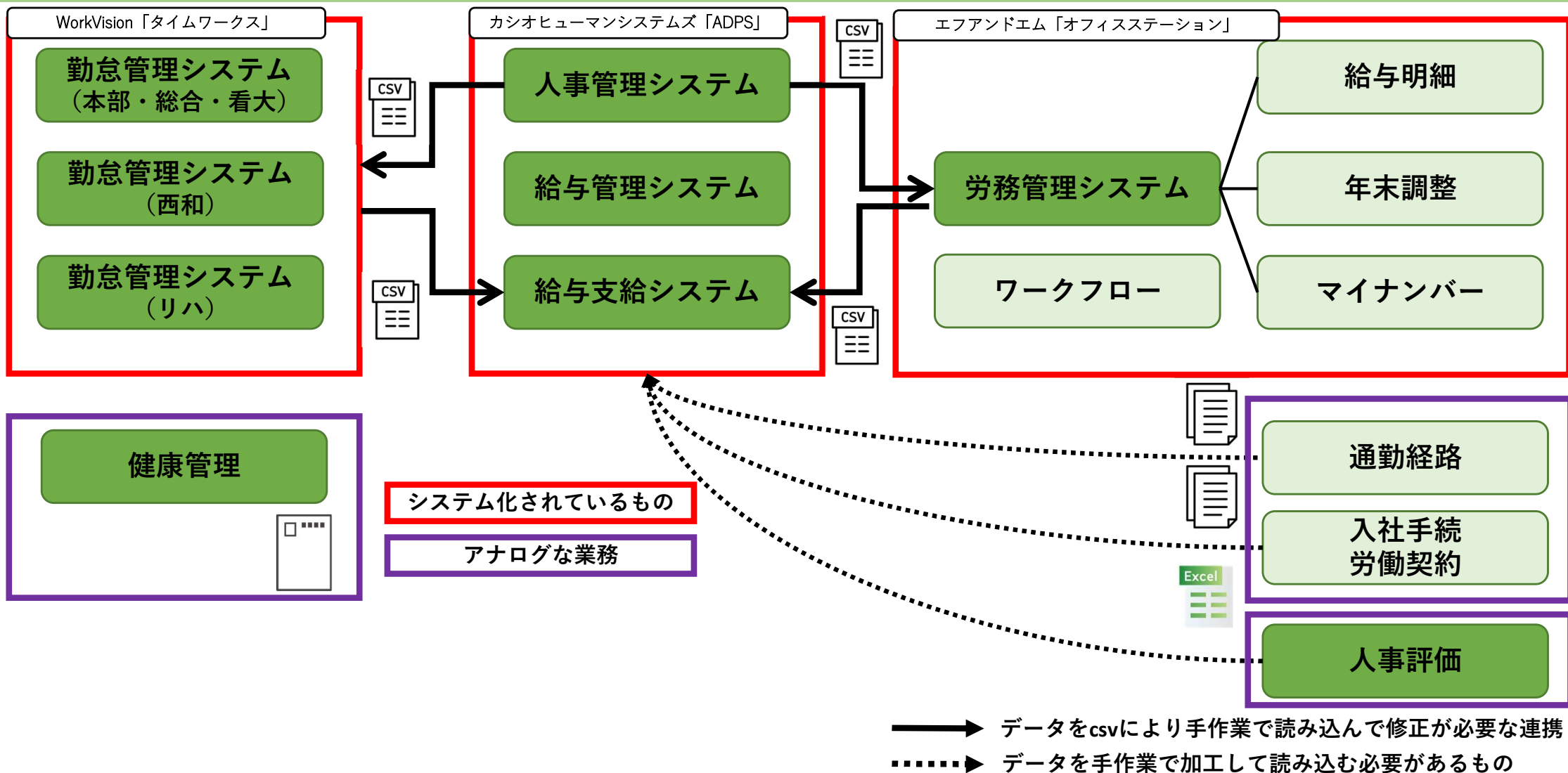


# 事務系システム全体構成図（現行）

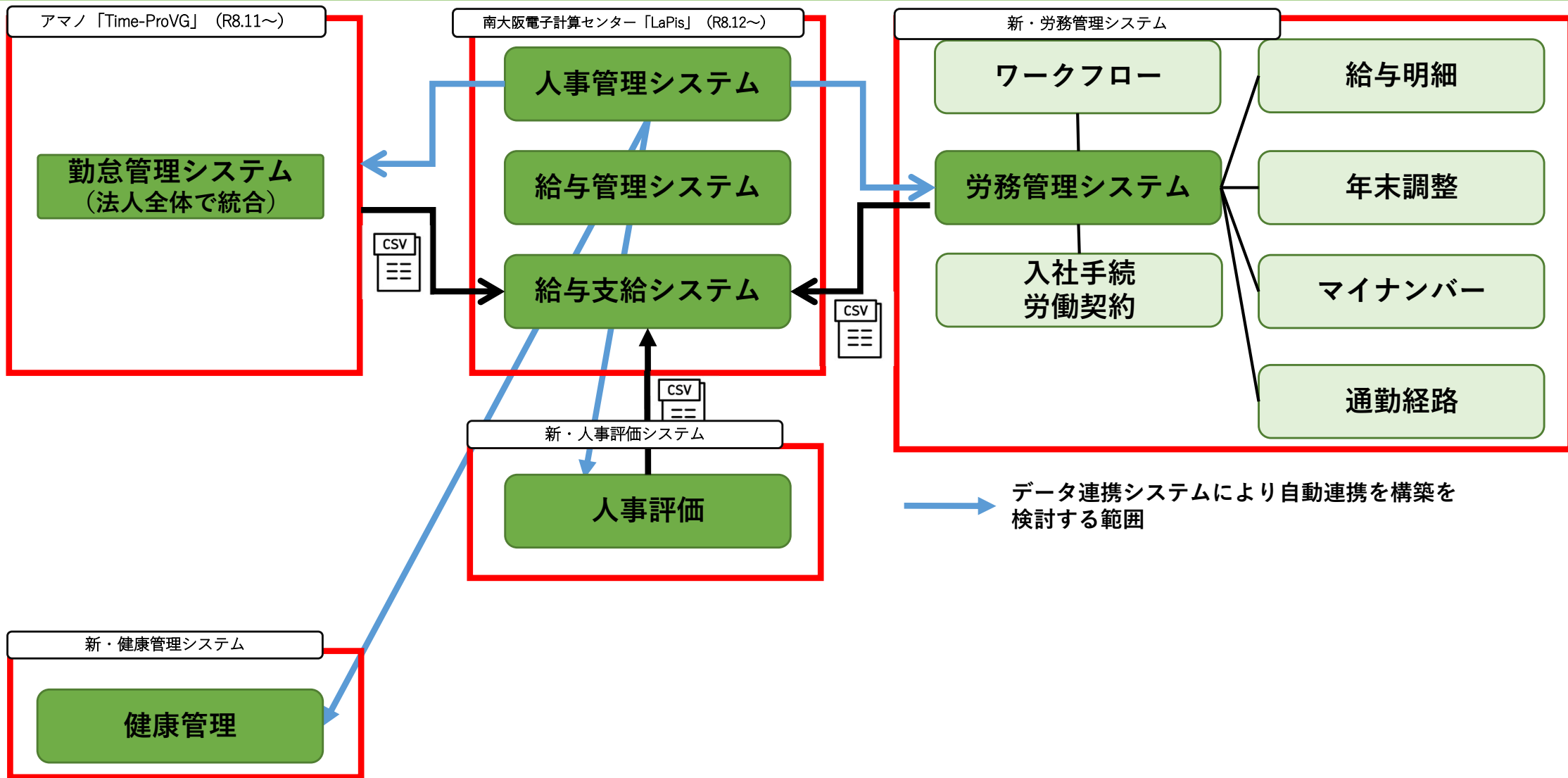
【別紙：参考資料1】



## 【概況】

- ・ 勤怠システムは3グループで同じシステムをバラバラに運用し、システム上、別事業所扱い。
- ・ 勤怠管理システムは人事管理・給与支給と手動によりcsv連携しているが、十分な連携ができず、不具合が多い状況。
- ・ 人事・給与は一体としてシステム運用しているがそれぞれが連携できず、効果を十分に発揮できていない。
- ・ 労務管理は限定的に運用しており、通勤経路や労働契約はすべて紙での運用となっている。
- ・ 人事評価はエクセルのシートを手動でデータ連携し、給与支給を行っている。
- ・ 健康管理は職員へハガキを送付しており、完全に個別に独立してしまっている。

# 事務系システム全体構成図（システム導入後）



## 【概況】

- ・ 勤怠システムは法人全体で統合し、医療機関の特性に応じて機能を拡充させる。
- ・ 人事給与システムは人事情報をベースに昇給・昇格や給与支給を自動連携し、機能を拡充させる。
- ・ 労務管理は運用範囲を拡充し、多くの事務のシステム化を図る。
- ・ 人事評価は目標管理シートや評価機能、評価の相対化をシステム化し、事務負担の大幅な軽減を図る。
- ・ データ連携は現在開発・導入中のシステムと連携するものとし、現行の人事管理システムとの職員情報連携はCSV等による手動連携でも差し支えない。